
D・Game

Silky

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

D・Game

【Nコード】

N7393Y

【作者名】

Silk y

【あらすじ】

『只今より、あるゲームを開催したいと思います。47都道府県の内、各都道府県1人ずつ、よって47名の者を代表として選出します。』

選出後、その47名を特殊な場所へと転送し、その場所で“D・Game”という特殊なゲームを行わせます。

そのゲームに敗北した者、及びその者が在住する都道府県の生存者

は・・・

・・・死んで頂きます。』

突然、テレビ画面に映された赤い文字。

このD・Gameとは一体・・・？

非情な死のゲームが、幕を開ける。

序章【終わりの始まり】（前書き）

一生懸命書かせて頂きました。

じっくり、ご覧下さいませ。

序章【終わりの始まり】

静岡県に住む、青陵高校せいりょうこうに通う2年生、高川誠たかがまことは、テレビを見て、驚きを隠せないでいた。

その理由は、真っ暗なテレビ画面に、

『只今より、あるゲームを開催したいと思います。
47都道府県の内、各都道府県1人ずつ、よって47名の者を代表
として選出します。』

選出後、その47名を特殊な場所へと転送し、
その場所で“D・Game”という特殊なゲームを行わせます。

そのゲームに敗北した者、及びその者が在住する都道府県の生存者
は・・・

・・・死んで頂きます。』

と赤く、不気味な文字が書かれているからである。

「どづいつ事だ・・・!?!?」

誠は、自分が置かれている状況を把握できないでいた。

誠だけではなく、日本中の正常な意識を持つ人々もまた、状況を理解できず、ただただ黙って画面を凝視していた。

このD・Gameと呼ばれるゲームが、残酷極まりなく、人類最大の不可解な事件になるうとは、その時は誰もが思わなかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7393y/>

D・Game

2011年11月22日02時56分発行